



雪の不老池

水の思い出

～ 4 ～

「水無川の水」

私は40年来自然への郷愁を満たしてくれる水石に魅かれ、各地の各地の山や川で探石を続け楽しんできた。

昨夏、石友6人で越後の銘石「八海山石」の故郷水無川・魚野川を訪れた。水無川は八海山を源として魚野川に合流している。堤防から水無川を見渡す。広い石の川原に水は全く流れていなかった。

この光景を見て思い出した。30年近く前、ロス郊外で水の無い川を見た。雨が降ったときだけ流れるという。かつてこの辺り一帯は乾ききって住みづらく栽培にも適さない不毛の地であったが1936年完成のフーバダムから数百キロメートルも離れたこの地に送水されるようになった。大地は潤い作物は育ち禿山に果樹が実り、ロス市民も水の恵みで快適に暮らせるようになった。自然を克服していく開拓者精神に感服した。

さて、水無川も雨が降ったときだけ流れる川なのか、疑問に思いつつ上流へ2キロメートル程進むと水の流れが見られたが、流れはここで途絶えている。近寄って見ると水は河床下に吸い込まれていっている。水の行先を土地の人に尋ねると、水無の正体は伏流水であり魚野川に流れ込んでいるという。川の流れはさまざま地下を黙々と流れる川もある。私は雄伏という人生のヒントを得た思いで水無川にしばし見入った。

探石を終え、大和町浦佐の宿に着き夕食をとる。米は魚沼産「コシヒカリ」酒は「八海山」どちらも八海山の名水から生まれた絶品を心ゆくまで堪能した。翌日魚野川で蒼黒の佳石を揚石することができた。

「若水を汲みにし泉 神気満つ」私は新世紀の感動を湧水に託し、巳年のみを折込み賀状に認めた。

(太田水石会、安藤)

春を待ちわびる 桜の季節がもうそこに...



しだれ桜

(寿町、小林 秀峰画)

■佐竹高

(稲木町、写真：佐竹高等学校所蔵)

のどかな田園風景
の中の桜並木のもと
で青春の思い出を
作った高校生も多い
のでは？



■西山公園

(新宿町、写真：常陸太田のふるさと名所景観より)

常陸太田の桜の名所
といって一番に思い浮
かぶ場所は何んといっ
ても西山の桜。若宮八
幡宮からの眺めも素敵
です。



ソメイヨシノ

(寿町、小林 秀峰画)



■瑞竜小学校

(瑞龍町、写真：瑞竜小学校所蔵)

校庭の真中に大きく枝を広
げ、生徒たちをつつみこむよう
に咲きほこります。



■**太田一高**（栄町、写真：常陸太田の自然より）
国指定重要文化財の旧講堂に寄り添うように咲き、
常陸太田の若者とともに時を刻んできました。



■**神永電線**（町屋町、写真：常陸太田のふるさと名所景観より）
梅、桃、桜と春の訪れを花の色で味わうには、ここ
が最適です。カラーでお見せできないのが残念。



■**根本医院跡**
（町屋町、写真：常
陸太田のふるさと
名所景観より）
町屋の趣のある
風景の中に、
高く見上げるよ
うに咲いていま
す。



■**里野宮堰**
（里野宮町、写真：
常陸太田のふるさと
名所景観より）
旧道の里川沿
いにそびえる見
事な高木です。

■**旌桜寺跡の
旗桜花**
（瑞龍町、写真：常陸
太田の自然より）
「花に旗のかた
ちあり」といわれ
る、変わった花び
らで有名な古木で
す。



やきものの中でも絵画は活かせる

— 無形のねんどから —

西河内下町 根本 達 志さん



今回は西河内で陶芸工房「楽只」（らくし）を構え、作陶活動をしていらっしゃる陶芸家の根本達志さんをお訪ねしました。

今にも雪のちらつきそうな曇り空の日でしたが、工房の中は昔ながらのストーブと窯に火が入っており暖かでした。子どもの頃から画家になるのが夢だったそうで約15年間絵画を志し、常北美術展で県知事賞、勤労者美術展は労働大臣賞、そして、常陸太田市の美術展でも市長賞を受賞するなど数々の賞に輝いています。

その後、陶芸に転向した根本さんは、笠間市にある県窯業指導所のロクロ科や陶芸意匠科などを修了して95年に同指導所の職員となりました。98年に退職、同時に独立して陶芸工房を地元で構えたの

でした。

「人間には自分の感覚の器官を通して、得られる感覚や知覚の楽しさが与えられています。」と根本さんは陶芸への思いを語られ、画家になりたかったのが、なぜ陶芸に変わったのかとお尋ねすると、27歳の時にエジプトで開かれたイベントに陶芸家や彫刻家の人たちと1ヶ月間スタッフとしてかかわってからの事でした。

— やきものの中でも絵画は活かせる —

独立後は天心焼デザインコンペで天心大賞を受賞、花のすみか大賞入選など県内外で幅広く活動が続けております。個展も数回開いており、私も「宵月夜の器」と題された照明スタンドや酒器などの作品を拝見させていただきました

が、絵画を選考してきた人らしく「陶をキャンパスに見立てている」という作風も個性的で面白く、イッチン盛（スポイトで粘土を絞り出す技法）などの技法で小さな器にも様々な絵柄が描かれていたり、陶で額をつくった「陶額」などもとても独創的なものでした。

何よりも「ものをつくる」ということは人間本来の欲求であり本能でもあるとおっしゃっている根本さん、独立して3年、作陶活動の傍らナザレ園でも陶芸の指導をしており、暖かい人柄でお年寄に接しています。

これからも様々な可能性を秘めて作品づくりにチャレンジしてってください。（嶋津 敬子）



常陸太田市商工会女性部 時代の波にのって 私たちのフラダンス

私たち商工会女性部の平成12年役員会で「フラダンスをしたい」との要望がありました。はじめのうちは部員の中でも「商工会女性部が！」と驚いたり、とまどったりしましたが、今は頭を切りかえ、昔物にはならないようにと思い努力をしようと……。

事務局もスムーズに要望に応じてくれ、平成12年6月から週2回私には生まれて初めてのフラダンス教室が始まりました。

部員の顔が生き生きとし、真剣に一生懸命、時間がたつのも忘れすっかり若い頃にもどった気分で楽しそうな姿を見ていると実施して良かったと思いました。

生涯学習センターの大きな鏡の前で、自分の全身を映し「笑顔よ！笑顔で踊るのよ！」と先生の指導、部員は懸命に覚えようとしている顔、顔、……。あつ

という間に2時間が過ぎてしまいます。全然疲れず、全身のリハビリで、頭や腰の痛みも取れ、フラダンスの素晴らしいさを味わった私です。

商工会婦人部も時代の波にのり、いろいろな事にも取り組み、他の女性部の模範となるよう今後とも活動を進めてまいりたいと思います。

（商工会女性部長 秋山つや子）



学び舎から
佐竹 小

総合的な学習の 時間は楽しいな



本校は、平成14年度から実施される総合的な学習の時間を週2時間行っています。児童の実体や発達段階、今日的な課題、児童の興味や感心などを考慮し、各学年が、テーマを決めて取り組んでいます。

その中で、6年生の前期の取り組みを紹介したいと思います。6年生は、将来的に世界で活躍できる真の国際人をねらいとして、「世界」というテーマで4月から11月まで活動してきました。世界の料理、ファッション、スポーツ、旅、遊びなど様々な観点からアプローチし、調べたことを検証するための体験活動、AET（英語指導助手）を招いての活動、ある時は海外在住経験を持つ子の友人親子（アメリカ人）を招待しての活動等々、大変意欲的な活動ができました。その中で子どもたちは、試行錯誤しながらも調べたりまとめたりする技能や方法、コミュニケーション能力を身に付けるなど確かな歩みがみられ、頼もしくも感じました。

また、その発展として12月には、笠間に在住のエチオピア人陶芸家タスファイエ・ガライヤさん（6年生保護者の旧知の友人）を親子学習会の講師に招き、エチオピアの話を聞いたり、笠間焼きの皿に親子で思い思いの絵を描いたりしてきました。出来上がった絵皿を体育館に飾り、子どもたちは言うまでもなく保護者や地域の方々にも鑑賞いただき、楽しい中にも意義あるまとめの活動もできました。

私の宝物・すてられない物
「離任式の日生徒
からもらった色紙」



「みんなと過ごした楽しい日々。みんなが色々なことを考えてるのは、知っていた。僕も、色々なことを考えた。でも僕には、いいアイデアをあまり出すことができなかったんだ。悔しいけどね。さてみんな元気かい？頑張ってるかい？元気じゃないなら、元気だせ。頑張ってるなら、もっとがんばって！」

でも待てよ。僕も、まだまだ先の長い道を歩んでいます。どこに辿り着くかも分からないような。僕こそもっと元気をださなきゃ。頑張らなきゃいけないんだ。」(Gsan)

子育て
奮闘記

踊るママパラダイス⑤

親にとっての幼稚園ってナンだろう。私は、ありがたいことに恩師に恵まれました。幼稚園の先生って私にとって先生だったのです。

3月で市立幼稚園を卒園するユースケは対人面で心に壁のある子です。集団生活は無理かもしれない、リタイアもあるかも、と思っていましたが、周りの人に恵まれてここまでたどり着きました。特に先生には助けられました、「私」が。頑張って頑張って時々すごく疲れちゃうことがあります。そんな時に先生が「頑張ってるね」って声をかけてくださる。グチを聞いてくださる。それで私は頑張れる。また、立ち上がる。私ってラッキー。もうすぐお別れですが、私は感謝の気持ちを園舎に残してユースケと一緒に小学校に行きます。そこにもきっと私の恩師になる先生がいるでしょう。「平等ってナンだろう。どの子にも同じように抱えることではなく、その子どもにあった抱え方をすることが平等なのではないか。」そうおっしゃる校長先生がいらっしゃる学校です。

子どもの幸せはまず親が幸せであると感じられることなんでしょうね。

P.N. 織田裕子 ——— 常陸太田子どもの劇場 ———

がんばれ新1年生!!





第1回黄門の里絵画展

公募中

～常陸太田市・金砂郷町・水府村・里見村の
四季折々の風景・風物を描く～

この地方（常陸太田市・金砂郷町・水府村・里見村）は、昔より豊かな自然や歴史に恵まれ、水戸黄門さまが愛した地域です。この地域を「黄門の里」と名付け、この地域を描いた絵画を募集いたします。

この絵画展は、全国の絵画を愛する人達が腕を競う場とし、全国各層より幅広く公募いたします。

是非多くの絵画愛好家の皆様の応募をお待ちしております。

公募要項の概要は次の通りですが、詳細については要項でご確認ください。

【応募資格】日本国内に在住する18歳以上の者

【応募作品】黄門の里（常陸太田市・金砂郷町・水府村・里見村）で描いた四季折々の風景や風物（街角を含む）で、画題は自由。大きさは20～30号まで。

【出品料】1点3,000円（1人2点まで）

【表彰・賞金】

○グランプリ 1点100万円（買上げ賞）

○優秀賞 3点各50万円（〃）

○奨励賞 8点各3万円

○入選 約60点

【審査員】

奥谷 博（洋画家・日本芸術院会員）

加藤貞雄（美術評論家・茨城県近代美術館長）

富山秀男（美術評論家・ブリヂストン美術館長）

【応募締切】平成13年8月10日まで
に所定の応募申込み用紙にて手続をしてください。

【お問い合わせ】

第1回黄門の里絵画展委員会

（常陸太田市商工会）担当：仲田、関

TEL 0294-72-5533(代)

FAX 0294-72-5546

E-mail:ootasyo@po.net-ibaraki.ne.jp

ちびっ子のど自慢大会を 開催します

主催 市子ども会育成連合会

常陸太田市さくらまつり行事のひとつである「第32回子ども会ちびっ子のど自慢大会」が4月8日（日曜日）生涯学習センターにおいて開催いたします。

今年は、会場が変わって舞台付ホール（生涯学習センター内）となり、約40組の90名もの小・中学生が、生バンドをバックに優勝を競います。（生バンドで歌う機会は、ありません。）出演者の募集には、10地区の子ども会連合会と各小学校の先生方に、代表者の選考をお願いいたします。歌の発表会に参加する子ども達にとって情操教育の場でもあります。市民の皆様には、ご来場のうえ、ご声援をぜひよろしくお願い致します。

常陸太田ライオンズクラブ35周年 常陸太田ライオネスクラブ20周年 記念事業

山形由美&松井久子デュオ・リサイタル 市民招待演奏会（無料）

3月25日（日）PM1:00開場 PM1:30開演
会場 常陸太田市民交流センター（パルティホール）



※応募方法 申込ハガキ
入場券希望者は往復はがき使用・返信面宛名に申込者の住所・氏名記載の上常陸太田ライオンズクラブ事務局宛までにお申し込みください。当選者には指定席の引換券としてお送りします。

313-0006 常陸太田ライオンズクラブ事務局 山形由美・松井久子デュオ	313-0006 常陸太田ライオンズクラブ事務局 山形由美・松井久子デュオ
（返信面） ・住所 ・氏名 ・電話番号	（返信面） ・住所 ・氏名 ・電話番号

*官製往復ハガキをご使用ください。
（往復）には下記の常陸太田ライオンズ事務局宛に、
（返信）にはご自分の郵便番号・住所・氏名をお書きください。

〒313-0006 常陸太田市宮本町394 常陸太田ライオンズクラブ事務局



フォonz子どもの詩 入選作品

「えにっき」
山下町 N・N（小二）
えきへいった
リナちゃんもきていた
えきさちゅうさんに
あきさつがきた
はずかしかった
（あいさつができたえらいね）

「はいく」
金井町 S・T（小五）
お年玉 もう使ってもと
母の声
（よかったね）

「親子鹿」
大森町 椎名左知戸（67歳）
男鹿が山を
見わたせば
母さん鹿は
子を見つめ
子鹿は
母さん鹿を見る
（すばらしい絵をみている
ようです）

第3回募集期間

3月1日（木）～3月26日（土）

応募先・問合せ先

〒313-0061 常陸太田市中城町3280番地

TEL 0294 (72) 8888 FAX 0294 (72) 8880

E-mail: ota-lls1@po.net-ibaraki.ne.jp

作品は600字以内（ワープロ等可）。末尾に①住所②氏名（匿名可）③連絡先を明記してください。

選評：フォonz・ネットワーク・みつぎ しげる

やってみよう投稿記事（投稿募集）

生涯学習情報誌「フォonz」に投稿をしてみませんか。イベント情報・人情情報・グループ情報や募集記事、その他どんなことでも結構です。みなさんの投稿をおまちしております。

やってみようレポーター（レポーター募集）

この情報誌の情報を集めていただくレポーターを募集いたします。自薦他薦は問いません。応募をお待ちしております。

感想をお寄せください（水墨画プレゼント）

この情報誌の感想をお寄せください。感想をお寄せいただいた方の中から、今号の2ページから3ページに掲載されている水墨画を2名の方にプレゼントいたします。

【問い合わせ先】

常陸太田市フォonz・ネットワーク事務局

〒313-0061 常陸太田市中城町3280番地

常陸太田市生涯学習センター内

TEL 0294(72)8888 FAX 0294(72)8880

E-mail ota-lls@po.net-ibaraki.ne.jp

平成13年度

生涯学習センター「団体交流サロン」利用団体を募集します。

生涯学習センター「団体交流サロン」を生涯学習関係団体のための事務スペースとして、団体に関する事務や打合せなどに利用することができます。また、書類などを保管できる棚やレターケースもあります。無料ですのでぜひ登録をしましょう。

○利用できる団体

- ・生涯学習活動をしている団体で、規約・規則などが定められている団体。
- ・団体の代表者若しくは団体の事務局が常陸太田市内に所在している団体。

○利用の申込（登録制）

- ・直接生涯学習センターに来館し、所定の用紙でお申込ください。
※平成13年3月16日（金）から受付を開始いたします。
- ・申し込みをされた団体について審査をし、団体交流サロン利用団体として登録をいたします。
- ・平成12年度利用（登録）された団体も新たに申込が必要となります。

○お問合せ先 常陸太田市生涯学習センター

〒313-0061 常陸太田市中城町3280番地 TEL 0294 (72) 8888



春友手づくり工芸センター展示のご案内

春友町の静かな高台にある手づくり工芸センターでは、自主的に活動しているグループによる作品の展示が行われています。味わい深い作品が並んでいます。ちょっと足を運んで鑑賞してみたいかがですか。

◎今後の展示予定

2月20日（火）～3月2日（金）陶岳会

3月14日（水）～3月28日（水）わかば会

4月14日（土）～4月28日（土）やまぶき陶友会

ろくろを用い製作した皿、湯呑み、花瓶、壺などが展示されます。

「国際平和ポスターコンテスト」 展示のご案内

ライオンズクラブ国際協力平和ポスターコンテスト「平和で結ばれる」に出展いただいた、市内小中学校の児童生徒の代表作品を展示いたします。

と き：平成13年3月10日（土）
～3月31日（土）

と ころ：生涯学習センター
作品展示コーナー

主 催：常陸太田ライオンズクラブ

映画を
観にこよう

ウィークエンドシネマランド

350インチ大画面ハイビジョン
映画館にみんな集まれ

ところ：生涯学習センターふれあいホール 入場無料（入場券が必要です）

小椋桂こどもミュージカル
「招待状は101歳～宝さがしのラリルレロ～」

3/17
(土) 14:00～

観覧申込受付 **2/17**
(土) より

「マリリンに逢いたい」

3/24
(土) 14:00～

観覧申込受付 **2/17**
(土) より

○観覧ご希望の方は、生涯学習センターへ直接来館してお申し込み下さい。先着順で入場券をお渡しいたします。

【お問い合わせ・申し込み】 常陸太田市生涯学習センター TEL0294 (72) 8888 (月曜日休館)

【お詫びと訂正】

第4号に掲載いたしましたパスタの店「ラ・ヴェルデ」さんの電話番号を間違えて掲載してしまいました。関係者に対しお詫びを申しあげ正しい電話番号を掲載させていただきます。パスタの店「ラ・ヴェルデ」 0294 (72) 0991

リレー
エッセイ

「思い出の絵本」 ～ 5 ～

(増井町 三田寺芳子さん)

息子が1才3ヶ月頃だったでしょうか。よちよち歩きで、私の所へ一生懸命持ってきた本がありました。「いないいないばあ」です。きりんさんやくまさん達がページいっぱい、いないいないばあをしている生まれて初めて手にした大好きな一冊でした。

そして、色々な事に興味を持ち始めた3才の頃「しずくのぼうけん」と出会いました。バケツからポツンと垂れた一滴のしずくが、旅に出て冒険する話です。川に落ちたり、水蒸気になって空の上に住んだり、また雨になって地面に落ちてきたりと目まぐるしいしずくの旅に、喜んだり心配したり声を出しながら、一緒に冒険しているのです。何度も何度も読んでいるうちに、蛇口をひねるとすぐに出てくる普段何気なく使っている水が、いとおしく大切に思えた様です。

今振り返って見ると、多くの良い絵本に出会っていたのですね。絵本の中から、子供はたくさんの事を自然に学びとった様に思います。

(次回は棚井美智子さん)



ほつ
とひといき

トウキョウサンショウウオ



(上：成体雌)

(下：卵のう)



3～五月頃、田んぼやため池の近くの水中に、三日月型をしたカエルの卵のようなものを見かけることがあります。これは、カエルの卵ではなく、トウキョウサンショウウオというサンショウウオの卵です。常陸太田市内には2種類のサンショウウオが棲んでいます。もう1種類は、ハコネサンショウウオという種類でこちらの方は、高鈴や春友の奥の溪流に住んでいます。トウキョウサンショウウオは、もっと人家の近くに住んで見かける機会も多いはずなのですが、最近その数がどんどん減ってきて心配です。ヒトのそばにいる生物の方が危機にあるというのは、少し寂しいような、怖いような気がしてしまいます。

(佐々木泰弘)



ちよつとひといき

宝月堂の「苺のショートケーキ」

東一町2284
TEL 0294(72)0312
営業時間 8:30～19:00
年中無休(元旦を除く)

苺のおいしい季節・・・。苺といえば「苺ショートケーキ」ということで、今回は、宝月堂さんのケーキをご紹介します。

素材の厳選と安全性にこだわり、着色料や保存料のはいった材料を一切使わずに、一つ一つ食べる人のことを考えて作っているそうです。中でも、今おすすめなのが「苺のショートケーキ」。シンプルだけに、その店の味の特徴がわかり、最も気を使う商品で、いわばその店の「顔」!!

「今、一番おいしい苺のショートケーキをぜひ食べて見てください」ということでした。

また、お客様のご要望(キャラクターの絵・お花畑みたいなetc)に応じて作るデコレーションケーキも大好評だそうです。

(S・O)

希少種
キノコ

「ブクリョウ」発見!!



ブクリョウ

今年の1月5日、西河内上町の豊田勇一さんが、裏山でシイタケのホタギ搬出のための道路をつくっていると、直径20cm～30cmくらいのコゲ茶色の球形をしたものが、地下30cmくらいの所から姿を表した。

「キノコらしいが何だろう」と家に持ち帰り、キノコ辞典やキノコに詳しい方に聞いてみると、サルノコ

シカケ科の「ブクリョウ」であることがわかった。

ブクリョウは日本、中国、韓国、北米に分布し、日本のものはアカマツの根に生じ、今回発見したブクリョウにもアカマツの根の跡がくっきりついていた。

漢方薬としてのブクリョウの使用量は多いが、国内産は非常に少なく、なかなか発見するのは難しいため、韓国や中国から輸入して需要をまかなっている。利尿、精神安定、消化不良などに用いられる。



発見者の豊田勇一さん